



・尻流 複写二 (シリル・コピーニ)

1973年に南仏のニースで生まれた尻流複写二は、高校時代に日本語の勉強を始め、1997年9月に来日(福岡)し、フランス政府公式機関である「九州日仏学館」に勤務。2001年に上京し、現在、在日フランス大使館内アンスティチュ・フランセ日本に所属。2010年大阪の落語家・林家染太との出会いをきっかけに本格的に落語を教わる。2011年に開催された「落語国際大会イン千葉」に出場し3位を獲得。外国語で落語を演じる三遊亭竜楽のフランス公演のコーディネーターや通訳で同行し、落語の海外普及にも積極的である。2014年7月、世界最大演劇祭『アヴィニョン・フェスティバル』で三遊亭竜楽と林家染太と口演を開催。2015年10月は日本国内「フランス人による落語会」、同年12月はスイス・フランスのツアーを実現。2015年より、明治大学中野キャンパスや国内のNHK文化センターで「RAKUGOを世界へ」という実演&講演会シリーズも行う。また、落語をテーマにした漫画『どうらく息子』(小学館刊)のフランス語版を担当。2016年より、浅草東洋館にてレギュラー出演中。 www.cyco-o.com Youtube: 日本語・フランス語・英語口演

・桧山うめ吉 (ひやま うめきち) (俗曲師)

倉敷市出身。幼少期からクラシックバレエ、ピアノを学ぶ。上京後に見た「新橋東をどり」に影響を受け、邦楽に転向。長唄、小唄、日本舞踊を学ぶ。寄席の裏方、出囃子三味線でプロ入りし、寄席芸人「檜山さくら」に入門。2000年に最年少俗曲師<桧山うめ吉>として高座デビュー。その後ビクター、コロムビア、テイクエンタテインメント等からCD、DVDをリリース。平成の日本髪アーティストとして話題となる。同時に古典的なお座敷芸を身につけた“ゲイシャアーティスト”として海外から高い評価を得てウィーン、パリ、ジュネーブなどヨーロッパでも公演活動中。2015年には、NHK木曜時代劇「まんまこと」におと吉役で出演。江戸のお座敷じゃんけん“東八拳”の「横綱」に登り詰めている。

<http://www.satoh-k.co.jp/ume/>



主催：一般財団法人カンセイ・ド・アシヤ文化財団 <https://kansei-de-ashiya.org/>

兵庫県芦屋市に拠点をおく、音楽/文化/芸術活動の振興を目的とする文化財団。「おもしろいこと、一緒に。」が合い言葉。「カンセイ・ド・アシヤ」の「カンセイ」は、感性、完成、寛静、歓生など、優れた文化芸術と関わりながら、人々がそれぞれの人生を彩りゆたかに生きていく様を表す。〒659-0095 芦屋市東芦屋町17-23-302

TEL.0797 38 2785

Email: stanzi@chive.ocn.ne.jp

HP URL: <https://kansei-de-ashiya.org/>

第10回プチ・サロン・デュ・カンサイ

Petit Salon du Kansai Vol.10



フランスのエスプリと日本の笑いが絶妙の
マッチング！日本人以上に〈日本〉を表現する
高座は一見一聴の価値あり！

フランス人落語パフォーマー

尻流 複写二

(シリル・コピーニ)

2019年9月1日 (日)

神戸酒心館ホール

(〒658-0044 神戸市東灘区御影塚町1-8-17)

開場13:30～ 開演14:00 (終演16時予定)

全席自由 (チケット券面の整理番号順に会場へのご案内となります)

前売券のお求めは

カンセイ・ド・アシヤ文化財団事務局まで

【お電話】または【Eメール】で！

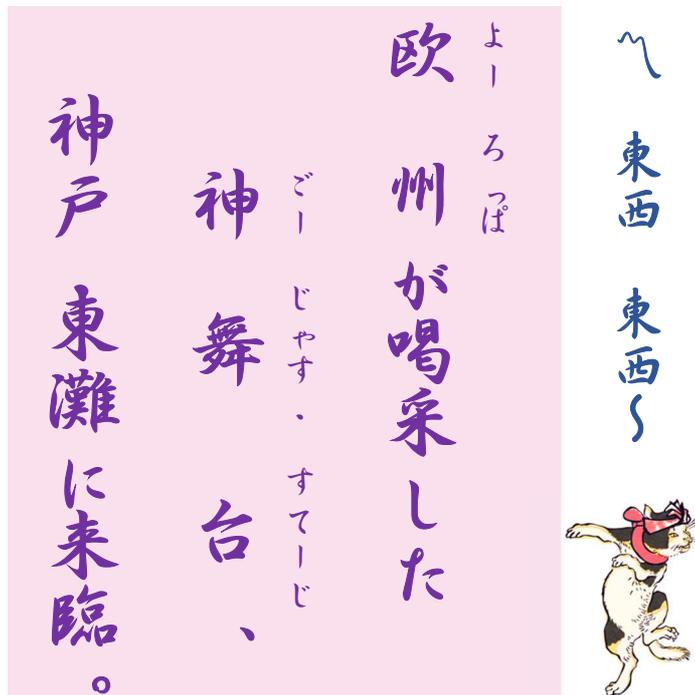
お名前・ご希望枚数・チケットお送り先ご住所・お電話番号
or メールアドレスをお知らせください。

電話：0797-38-2785 Email: stanzi@chive.ocn.ne.jp

〒6590095 芦屋市東芦屋町17-23-302

一財) カンセイ・ド・アシヤ文化財団

公式ホームページ：<https://kansei-de-ashiya.org/>



前売券 お一人さま ¥3,500 (税込)

当日券 お一人さま ¥4,000 (税込)

(未就学児の入場は御遠慮くださいませ)

平成の日本髪アーティスト、欧州を唸らせた艶やかなお座敷芸は天下一品！



端唄・俗曲師(三味線と唄)
桧山 うめ吉